KOTOBUKI

取扱説明書

POWER BOX SV MINI

⚠ この取扱説明書は大切に保管しておいてください。

大切な飼育魚のために

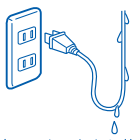
○大切な飼育魚のためにも、必ず一日一度は、フィルターや飼育器具が正常に作動しているか確認を行ってください。
○本製品をご使用される前に、必ず本書をよくお読みください。

この度は、当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本書には本製品を安全にご使用いただくための注意事項、使用方法などを記載しております。本製品をご使用になる前に必ずお読みになり、記載内容を十分にご理解ください。

安全にお使いいただくために　必ずお読みください。

⚠ 警　告　「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

●電源はAC100V（一般家庭用電源）を守ってください。また、電源はタコ足配線にならないようにしてください。火災や感電事故、故障の原因になります。
●電源プラグをコンセントに差し込むときや、コンセントから抜くときは、ぬれた手で行わないでください。また、コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。感電事故や断線の原因になります。
●電源プラグがコンセントに正しく差し込まれているか、ホコリや汚れが付いていないか定期的に点検してください。放置すると火災や漏電事故の原因になります。
●水槽より低い位置の電源コンセントは使用しないでください。やむを得ず水槽より低い位置でご使用になる場合は、右図のように必ず水滴だまりを設けて、水滴がコンセントに流れ込まないようにしてください。
また、電源プラグに水分が付着していないか定期的に点検してください。
放置するとサビや火災、漏電事故の原因になります。



●水替えなどのお手入れの際、水の入った水槽に手を入れるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。感電事故の原因になります。
●本製品は屋内で使用する観賞魚水槽専用です。それ以外の用途では使用しないでください。また、屋内であっても風呂場や洗面所など湿度の高い場所では使用しないでください。感電事故や故障の原因になります。
●本製品は直射日光の当たる場所や高温になる場所、熱のこもる場所などでは使用しないでください。故障の原因になります。
●引火性のもの（シンナー、ガソリン、ベンジン、可燃性スプレーなど）や酸などの腐食性のものの近くでは使用しないでください。爆発や火災、故障の原因になります。
●万一機器から煙が出ていたり、異臭がするなどの異常があるときは、ただちにコンセントから電源プラグを抜いて、使用を中止してください。その後、お買い求めになった販売店、または当社までご連絡ください。異常状態でのご使用は、火災や故障の原因になります。
●本書で指示のない箇所を分解したり、修理、改造は絶対にしないでください。けがや故障、火災の原因になることがあります。（修理はお買い求めの販売店、または当社にご連絡ください）

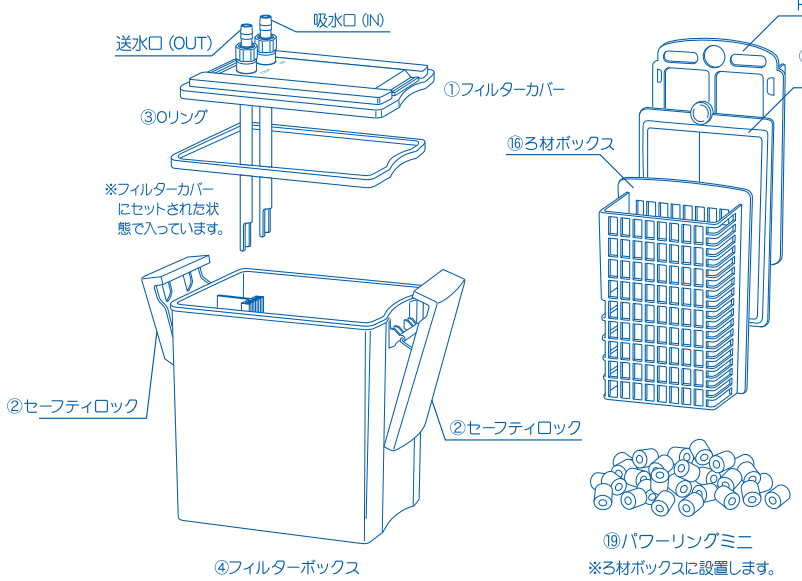
⚠ 注　意　「傷害または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

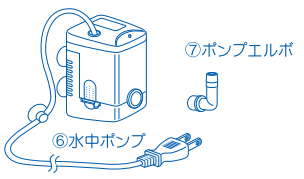
●電源コードを無理に曲げたり、電源コードの上に重いものを載せたりしないでください。また、電源コードは、出荷時の束ねた状態では使用しないでください。漏電事故や過熱による出火、火災の原因になります。
●観賞魚飼育に適さない汚濁した異常水質の水や、観賞魚用品以外の薬品が入った水槽では使用しないでください。故障の原因になります。
●市販されている一部の水質調整剤（特に麦飯石を含むものなど）や硬い微粒子を含む底砂（セラミック系の砂利やソイル系の砂など）は、鉄分や細かな金属、セラミック系の微粒子を含むものもあります。このような水質調整剤や底砂、または粒の細かい底砂、海水や人工海水を使用した場合、通常よりも極端にインペラーのシャフトを摩耗させ、異音の発生や故障（シャフトの破損やモーターの停止など）の原因になります。シャフトの磨耗については、当社にて保証いたしかねますのでご了承ください。
●水槽に海水または人工海水を入れてご使用になる場合は、電源プラグに海水がかからないように注意し、万一塩分が付着しているときは、ただちにきれいに拭き取ってください。塩分が付着した状態で放置すると、火災や、漏電事故の原因になります。
●お手入れの際には、シンナーや洗剤などの薬品を使用しないでください。万一それらが付着したときは、十分に拭き取ってからご使用ください。
●本製品は40℃以上のお湯では使用しないでください。また、ストーブなどの暖房器具の近くでも使用しないでください。本体が変形して、故障の原因になることがあります。
●本製品の上にものを載せないでください。破損や変形の原因になります。
●本製品は、電気製品の近くは避け、水平で平らな安定した場所へ設置してください。
●本製品は、倒したり、傾けたり、逆さまにした状態での使用はしないでください。水漏れの原因になります。
●本製品は、空運転させないでください。水中ポンプの故障の原因になります。
●本製品の組み立て、取り付け、お手入れのしかたなどは、本書の手順および記載内容にしたがって安全に行なってください。また、本製品や本書の記載内容は、魚や水草など生体の死亡や病気、水草の枯れなどが起きないことを保証するものではありません。あらかじめご承知おきください。
●本製品の水中ポンプの近くには、エアストーンなどエアが出るものを設置しないでください。水中ポンプがエアを吸い込み、フィルター内にエアが溜まって水を吸い上げなくなったり、異音の発生や水中ポンプの故障の原因になります。
●本製品は始動時や水中に含まれているエア（溶存酸素など）が蓄積されたときに、気泡が吐出（エアを吐き出す音がします）されますが、通常蓄積される程度のエアは問題ありません。
●本製品同士の連結や他メーカーの連結パーツを使用しての連結使用、及び他の器具との接続は絶対にしないでください。故障や水漏れの原因になります。
●他メーカーの消耗部品や容量の異なる部品の使用、または混用は、絶対にしないでください。故障や水漏れの原因になります。

オゾン発生装置や直接照射タイプの殺菌灯などをご使用されるとゴム・樹脂パーツを著しく劣化させ、故障の原因になります。

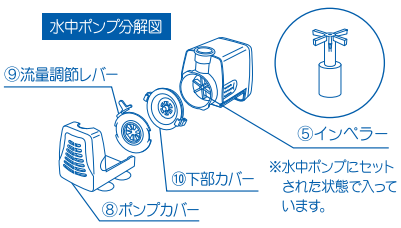
●本製品に故障が発生した場合は、そのまま使用せず、お買い求めの販売店、または当社までご相談ください。

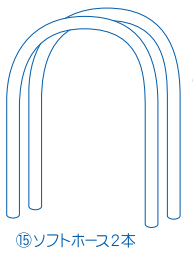
1 各部の名称

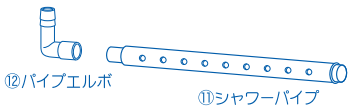




水中ポンプ分解図







設置に関するご注意

※本製品は必ず水槽の横に設置してください。また、本製品をクーラー等の器具と接続しないでください。

本製品と水面との高低差があると流量の低下や、本製品に負担がかかり、水漏れ等の事故につながる恐れがあります。また、本製品をクーラー等の器具と接続したり、ホースやパイプ類にコケやゴミ等が詰まると、同じように流量低下や水漏れ等の事故につながる恐れがあります。最低1ヶ月に1回程度は掃除または点検を行ってください。

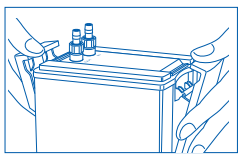
2 設置方法

ご使用の前にフィルターボックス等に割れなど破損個所が無いか、必ず確認してください。水漏れの原因になります。

⚠ ご使用上の注意

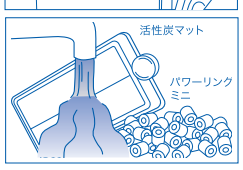
●本製品はプラスチック製です。落としたり、ぶつけたり、衝撃を与えたりすると、破損や故障の原因になりますので、取り扱いには十分注意してください。特に、フィルターボックス内に水が入っている場合は、重くなっていますので、十分注意してください。
●本製品は、水平で平らな安定した場所に設置してください。安定が悪いと転倒による破損や故障の原因になります。
●本製品の水中ポンプの近くには、エアストーンなどエアが出るものを設置しないでください。水中ポンプがエアを吸い込み、フィルター内にエアが溜まって水を吸い上げなくなったり、異音の発生や故障の原因になります。
●本製品のOリングやキスゴムなどに白い粉のようなものが付着している場合がありますが、生体に影響はありません。
●本製品のろ材、インペラー、Oリング、キスゴムは消耗部品です。本書の内容をよくお読みの上、交換を行ってください。また、その他の部品も長期間ご使用されると汚れなど色々な原因により、劣化してしまいますので定期的に点検し、交換するようにしてください。

(1) フィルター本体を箱から取り出し、前後にある2つのセーフティロックの上部・下部に指を掛けて下部側を左右に開きハの字状にします。次にセーフティロックを持ち上げるようにして逆ハの字に広げ、セーフティロックがフィルターカバーに干渉していないのを確認してからフィルターカバーを外します。

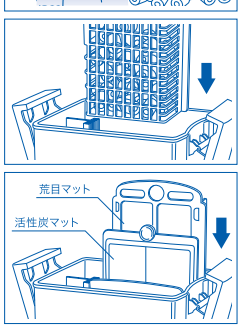


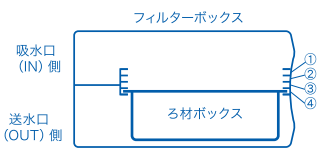
(2) 活性炭マットとパワーリングミニを袋から取り出し、水道水で軽くすすぎます。

※活性炭マットとパワーリングミニは、フィルターにセットし、ポンプを動かすと、多少黒い水や白い水が流れることがありますが、すぐに透明な水になります。

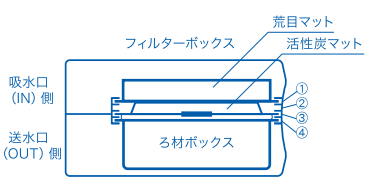


(3) すすいだパワーリングミニをろ材ボックスに入れ、フィルターボックスの送水口（OUT）側の1番端（下図参照）の溝④にセットします。





(4) 活性炭マットをフィルターボックスの溝③に、荒目マットを溝①（下図参照）にセットします。

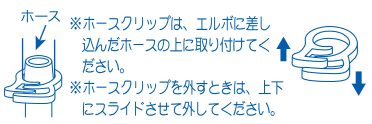


(5) フィルターカバーをフィルターボックスに載せ、フィルターカバーとフィルターボックスに隙間がないのを確認してから前後のセーフティロックの上部側をフィルターカバーに引っ掛け、セーフティロックの下側をフィルターボックスに向けて押します。

※セーフティロックは、必ずしっかりはめてください。
※セーフティロックをはめるときに、指を挟まないようご注意ください。

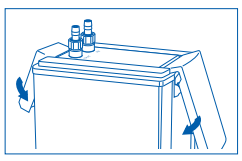
(6) 水中ポンプにポンプエルボを取り付け、ホースを差し込んで、ホースクリップで止めます。（下図参照）

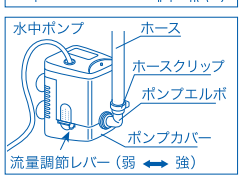
※ホースは、奥まで差し込んでください。
※ホースクリップは予めホースに通しておくと取り付けやすいです。

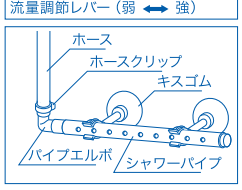


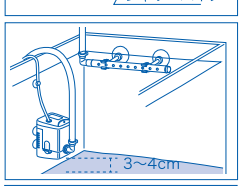
●水中ポンプに付いている流量調節レバー（右図参照）で流量の強弱が調節できます。

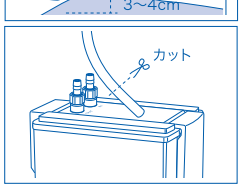
(7) シャワーパイプにパイプエルボを取り付け、ホースを差し込んで、ホースクリップで止め、シャワーパイプにキスゴムを取り付けます。









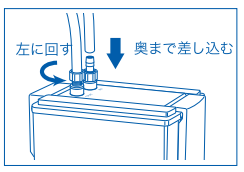


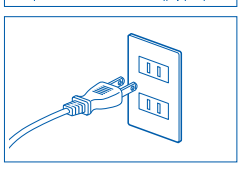
※ホースは、奥まで差し込んでください。
※ホースクリップは予めホースに通しておくと取り付けやすいです。

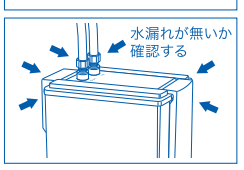
(8) ご使用になる水槽にシャワーパイプと水中ポンプを取り付けます。

※水中ポンプは、水槽の底（底砂）から約3～4cm空けて取り付けてください。また、粒の細かい底砂や比重が軽い底砂をご使用の場合は、底砂を吸い込まない位置に取り付けてください。砂利を吸い込むと、モーターの故障の原因になります。
※砂粒が3mm以下の砂利などは使用しないでください。砂粒がフィルターに詰まり停止する恐れがあります。

(9) 水中ポンプのホースを吸水口（IN）に、シャワーパイプのホースを送水口（OUT）に差し込み、本体の設置場所からの最適なホース長さになるよう、適度な箇所で切っておきます。







※ホースが長過ぎたり、折れ曲がっていたり、たるみがあったりすると、吸水や送水が正常に出来なくなりますので、必ず適度な長さに切ってご使用ください。
※ホースを切る際は、指などを切らないようにご注意ください。

(10) 吸水口（IN）と送水口（OUT）に付いているナットを右に最後まで回し切った状態にし、吸水口（IN）に水中ポンプ側のホース、送水口（OUT）にシャワーパイプ側のホースを奥まで差し込み、水が漏れないように、ナットを左に回して締めてください。

※ホースが柔らかい素材のため、力を入れてナットを締めるとナットが回り続け、ナットが外れてしまいますので、締めすぎないように注意してください。

(11) 水槽に水が入っていることを確認し、水中ポンプの電源プラグをコンセントに差し込みます。フィルターボックス内に水が満たされた後、シャワーパイプから水が排水されます。

※電源プラグをコンセントに差し込むときや、コンセントから抜くときは、ぬれた手で行わないでください。
※水中ポンプ本体は必ずすべてが水に浸かった状態でご使用ください。水に十分に浸かった状態で使用しないとポンプの異音、故障の原因となります。

(12) 電源を入れたら、水が正常に流れているか、水が漏れていないか確認してください。また、時間（30～60分）をおいてから、フィルターが正常に作動しているか、水が漏れていないか、再度確認してください。

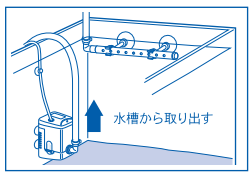
3 お手入れのしかた

本製品が正常に機能するように、1ヶ月に1回程度（汚れの頻度に合わせて）は掃除を行ってください。

(1) 水中ポンプの電源プラグをコンセントから抜き電源を切ります。

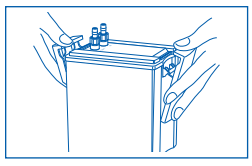
※電源プラグをコンセントに差し込むときや、コンセントから抜くときは、ぬれた手で行わないでください。

(2) 先に水中ポンプを水槽から取り出し、シャワーパイプを水槽から外します。



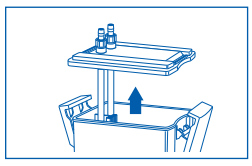
※水中ポンプを取り出したときに、シャワーパイプから少し水が出ます。ご注意ください。

(3) 前後にある2つのセーフティロックの下部に指を掛けて持ち、下部をハの字に開くようにして外します。



※本体内部の水がこぼれる恐れがありますので、濡れても大丈夫な場所へ移動してください。

(4) フィルターカバーを取り外します。



※フィルターカバーを取り外すときは、必ず片方の手でフィルターボックスを抑えながら取り外してください。
※フィルターカバーを取り外したときに、吸水パイプ、送水パイプから水が伝い漏れをしますので、ご注意ください。

1. ろ材の交換・洗浄

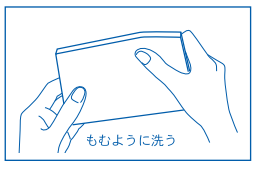
プロフィットフィルターF3用 活性炭マットA

■活性炭マットは、長期間使用しますと活性炭効果が弱くなります。2〜3週間に一度は、交換するようにしてください。

プロフィットフィルターF3用 荒目マットB(黒)

■マットをフォルダーから外し、飼育水をバケツなどに汲み取ったものか、カルキを中和した水でもみ洗いしてください。

※荒目マットは、もみ洗いして再度使用できますが、目が傷んできますと、ろ過能力がおちてしまいますので、月に一度は交換するようにしてください。



パワーリングミニ（セラミックリング）

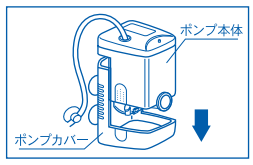
■生きたろ過バクテリアの格好のすみかとなり、残餌や魚のフンなどによって発生するアンモニア、亜硝酸を分解する生物ろ過を行います。

※お手入れの際、本製品を洗う場合は水道水で洗い流さないようにしてください。リングに繁殖したバクテリアが流されてしまいます。飼育水をバケツ等に取り、軽くすすいでください。

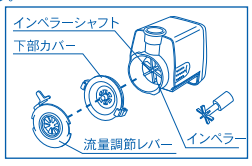
2. 水中ポンプの掃除

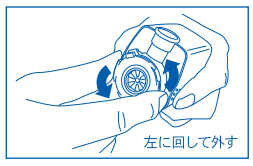
(1) 水中ポンプからポンプカバーを取り外します。

※ポンプカバーは水中ポンプ本体側の滑り止め部分をしっかりと抑え、取り外してください。



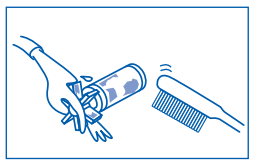
(2) 流量調節レバー、下部カバーを左に回して取り外します。





(3) インペラーを取り出し、インペラーの掃除をします。

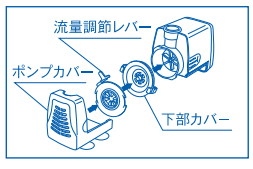
※ポンプ室、ポンプカバー、流量調節レバー、インペラーを柔らかいブラシ等で掃除してください。
※インペラーのシャフト（ポンプ本体からは外れません）や羽根にゴミなどが絡み付いている場合は、必ず取り除いてください。



●インペラーを取り出すときは、本体をしっかり持ち上下に軽く振って、取り出してください。取り出し難い場合は、ピンセットなどを使って取り出してください。

注：インペラーシャフト（中央の軸）は外れません。

(4) ポンプ室にインペラーを入れ、下部カバー、流量調節レバーを右に回して取り付けた後、ポンプカバーを取り付けます。

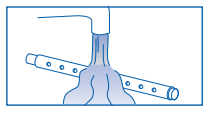


インペラーの交換について

※ご使用中に「カタカタ」と音がしてくると、インペラーの寿命です。また、海水（人工海水）でご使用の場合は、淡水使用時よりもインペラーの摩耗が早くなります（約6ヶ月で寿命）ので、早めに交換するようにしてください。

3. ホースやパイプ類などの掃除/その他

●パイプ類やホースは取り外し、柔らかいパイプブラシや流水ですすぐなどして、掃除または交換してください。特にフィルターカバーに付いている吸水パイプ、送水パイプなど各種パイプ類の内側にゴミが詰まることがありますので、定期的に点検してください。流量低下や水漏れ等事故の原因にもなります。



●フィルターボックスは内部を流水ですすいでください。それでも落ちない汚れは柔らかいブラシ等で掃除してください。

●ホースクリップは両手の指でクリップをつまんで上下にスライドさせて外してください。

●キスゴムやOリングは消耗品ですので、硬化してきたら新しいものに交換してください。特にOリングの硬化は、水漏れの原因になりますので、早めに交換してください。

●掃除が終わりましたら、もと通りに組み立ててください。

⚠ ご使用上の注意

●本製品はプラスチック製です。落としたり、ぶつけたり、衝撃を与えたりすると、破損や故障の原因になりますので、取り扱いには十分注意してください。特に、フィルターボックス内に水が入っている場合は、重くなっていますので、十分注意してください。
●本製品のOリングやキスゴムなどに白い粉のようなものが付着している場合がありますが、生体に影響はありません。
●本製品のろ材、インペラー、Oリング、キスゴムは消耗部品です。本書の内容をよくお読みの上、交換を行ってください。また、その他の部品も長期間ご使用されると汚れなど色々な原因により、劣化してしまいますので定期的に点検し、交換するようにしてください。

4 仕様

適合水容量	45cm水槽以下［40ℓまで］	
本体寸法	幅90×奥行き170×高さ210mm	
定格電圧	AC100V　50Hz/60Hz	
定格周波数	50Hz	60Hz
定格消費電力	3W	2W
流量	約3.5ℓ/分	約4.0ℓ/分
最大揚程	約55cm	約75cm
ろ過槽容量	約1.5ℓ	
適合ホース	内径（約）8mm	

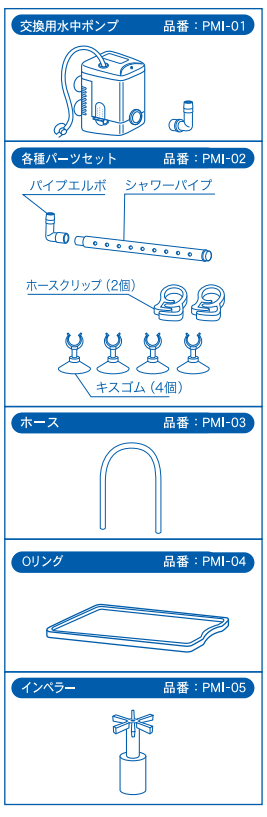
電気料金の目安
1日24時間作動の場合
約1.8円

※電気料金はあくまでも目安です。地域差・環境等によって異なりますのでご注意ください。
（関西電力調べ）

※ポンプの能力値は、ホースの長さやシャワーパイプの取り付けによる抵抗や水面と本製品との高低差やろ材の種類などにより、下回る場合あります。

5 交換部品

■交換部品一覧



■交換ろ材
（ろ材の交換は専用ろ材をお買い求めください。交換の際は下記商品とお間違えのないようにお買い求めください。）

※製品の改良又は、その他諸事情により断りなく製品の仕様を変更する場合があります。

※写真とイラストはイメージです。

6 こんなときは

■故障かな？と思うまえに、以下のことを確認してみてください。また、故障と思われることでも、正常に機能している場合もあります。

下記の作業を行う時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

症状	原因	対処方法
フィルターカバーが装着できない。	Oリングが正しくセットされていない。	フィルターカバーの縁に沿って正しくセットする。
	ろ材が正しくセットされていない。	ろ材の場所を確認し、セットし直す。
水中ポンプが作動しない。水が出ない。	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグを差し込む。
	インペラー部に異物が詰まっている。	異物を取り除く。
	インペラーに水草や繊維などの異物が絡まっている。	インペラーの掃除をする。
	水位が低すぎる。	水中ポンプの本体がすべて水に浸かるように設置する。
	ホース内やフィルターボックス内にエアが溜まっている。	本体を少し傾けるか、軽くゆすってエアを抜く。または、ホース内、フィルターボックス内の水を全て抜き、一から再始動する。
水流が弱くなる。異常音がする。	インペラーが摩耗している。	インペラーを交換する。
	インペラーシャフトが摩耗している。	水中ポンプを交換する。
	ろ材の入れすぎや、ろ材の目詰まり。	ろ材を取り出して掃除または交換する。
	ホースが折れたり、ホース内や本体にヘドロ状のコケなどが詰まり汚れている。	ホースの折れを直す。または、ホースの掃除・交換をする。
	パイプ類にゴミなどの異物が詰まっている。	ゴミを取り除く。
	ポンプを1年以上使用している。	新しいものに交換する。
	タコ足配線にしているなど、コンセントの電気容量が不足している。	タコ足配線をやめる。違うコンセントから電源を取る。
	電源プラグを間違ってサーモスタットのコンセントに差し込んでいる。	AC100V（一般家庭用電源）コンセントへ差し込む。
水漏れ。	セーフティロックを閉め忘れている。	セーフティロックを閉める。
	フィルターボックスやフィルターカバーなど、各部品の破損。	破損した部品を交換する。
	フィルターボックスとフィルターカバー（Oリング）の接続部分にゴミや砂などの異物が挟まっている。	異物を取り除く。
	Oリングがねじれているなど正しくセットされていない。または、Oリングなどの各部品の変形、破損。	溝にOリングを正しくセットする。または、部品を交換する。
	ホースがしっかりと接続されていない。	送水口や吸水口、パイプエルボやポンプエルボに奥までしっかりとホースを差し込む。
	高低差をつけて設置している。	水槽の横に設置する。
	クーラー等の器具を接続している。	接続をやめる。
エアが噛んでいる。	設置したばかりか、ろ材を交換したばかり。または、水中に含まれているエアやろ過材から出るエアが蓄積されて溜まっている。	本体を少し傾けてエアを抜く。また、水中に含まれているエアが蓄積されて行くため、完全にエアが抜け切ることはないが、通常蓄積されるされる程度のエアは特に問題ないので、そのまま使用する。
	水中ポンプの近くにエアストーンなどエアの出る物がある。（シャワーパイプが水面より出ている場合、エアを多く噛んでしまい、エア噛みの原因になります。）	取り除くか、離れた場所に設置する。（シャワーパイプを水中にセットする。）
	ホースがしっかりと接続されていない。	送水口や吸水口、パイプエルボやポンプエルボに奥までしっかりとホースを差し込む。
	水位が低すぎる。	水中ポンプの本体がすべて水に浸かるように設置する。

■適切な処置を行っても症状が改善されないときや、同じ症状が再発する場合、または上記以外の症状が発生したり、原因がわからないときは、ご使用を止めてお買い求めの販売店、または当社までご連絡ください。

保証について

■パワーボックスSVミニには下記の保証規定を設けています。
本保証書は販売店で記入いたしますので、所定事項の記入および記載内容をご確認の上、大切に保管しておいてください。

パワーボックスSVミニ 保証書

SAMPLE

●お買い上げいただいた日から、淡水でご使用の場合は1年間を保証期間、海水または人工海水でのご使用の場合は6カ月を保証期間とし、この期間内に正常な使用状態において故障、および損傷が発生した場合は、本保証書の記　載内容にもとづいて無償修理いたします。
なお、ろ材の汚れ、インペラー・Oリング・キスゴムなどの消耗部品の磨耗や劣化、お客様の過失による製品の割れおよび傷は保証の対象外になります。

●保証期間終了後、および保証期間内であっても、以下の場合は保証いたしません。
1. 誤った組み立て、取り付けによる故障、および損傷。
2. ご使用上の不注意、過失による故障、および損傷。
3. 不当な修理や改造による故障、および損傷。
4. 日常の点検、お手入れの不備による故障、および損傷。
5. 砂や異物の吸い込みによる故障、および損傷。
6. 家庭以外（船舶や車両などへの搭載）で使用されたことによる故障、および損傷。
7. 屋外で使用したことによる故障、および損傷。
8. 観賞魚用水槽以外で使用したことによる故障、および損傷。
9. 異常水質による故障、および損傷。
10. オゾン発生装置や殺菌灯などの使用によるゴム・樹脂パーツの劣化、および損傷。
11. ステンレスシャフトなどを侵すケミカル剤および砂利を使用した場合の故障、および損傷。
12. 観賞魚用薬品以外の薬品が入った水槽で使用したことによる故障、および損傷。
13. 指定以外の電源（電圧、周波数）による故障、および損傷。
14. 火災、地震、水害、公害、落雷など、その他天災地変による故障、および損傷。
15. 魚類など生体の死亡や病気、および水草の枯れ。
16. 本保証書の提示がない場合。
17. 本保証書にお客様名、お買い上げ日、販売店名の記入がない場合。
18. 本保証書の字句を書き換えられた場合。

●本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
●保証修理をお受けになるときは、お買い求めの販売店、または当社までご連絡ください。
●保証修理をお受けになるときは、本保証書を提示してください。
●保証期間終了後の修理につきましては、お買い求めの販売店、または当社までご連絡ください。
●本保証書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in JAPAN

この保証書は、明示した期間、条件において無償修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※製品の改良又は、その他諸事情により断りなく製品の仕様を変更する場合があります。

KOTOBUKI 生活ロマンを創造する コトブキ工芸株式会社
■本　社
〒580-0043　大阪府松原市阿保2丁目122-4
Tel.(072)333-2208　Fax.(072)333-0369
お客様相談窓口　☎072-334-8828

本書の記載内容の一部または全部を、無断転載することはかたくお断りします。
All Rights Reserved, Copyright 2009 Kotobuki Kogei Co., Ltd.　230409②